

## 輸送密度 2,000 人/日未満の線区別経営状況に関する情報開示

ローカル線については、取り巻く環境の変化とともに、ご利用状況が大きく変化しております。地域の皆様と各線区の実態や課題を共有することを目的として、線区のご利用状況や経営状況に関する情報開示を行っています。

輸送密度（平均通過人員）2,000 人/日未満の線区（2019 年度実績による 17 路線 30 線区）について、一定の前提をおいた算出のもと線区別の収支率など（2021～2023 年度の 3 か年平均）を別紙のとおりお知らせいたします。

※収支率：その区間にかかる費用に対する収入の割合

※収入は線区運輸収入、費用は線区で発生する費用を計上（管理費等は除外）

【参考】ローカル線に関する課題認識と情報開示について（2022 年 4 月 11 日プレスリリース抜粋）

[https://www.westjr.co.jp/press/article/2022/04/page\\_19817.html](https://www.westjr.co.jp/press/article/2022/04/page_19817.html)

・ローカル線に関する課題認識

会社発足から 35 年間、地域の皆様にご協力いただきながら、輸送改善や観光誘発といったご利用促進策を進めてまいりました。一方、この間に沿線人口の減少・少子高齢化、道路整備や、道路を中心としたまちづくりの進展など、ローカル線を取り巻く環境は大きく変化しております。

そうした中で、鉄道は自動車に比べてきめ細かな移動ニーズにお応えできないこともあり、線区によっては地域のお役に立てておらず、厳しいご利用状況となっています。特に今回お示ししている線区については、大量輸送という観点で鉄道の特性が十分に発揮できていないと考えております。これらの線区はCO<sub>2</sub>排出の面でも、現状のご利用実態では必ずしも鉄道の優位性を発揮できていない状況にあります。

今後もさらなる人口減少など、環境変化が見込まれる中で、持続可能な地域社会の実現に向け、線区の特性の違いや移動ニーズをふまえ、地域のまちづくりに合わせた、今よりもご利用しやすい最適な地域交通体系を地域の皆様と共に創りあげていく必要があると考えています。

・地域の皆様との対話に向けて

地域の皆様と課題を共有させていただき、「地域公共交通計画」の策定などの機会に積極的に参画し、地域のまちづくりや線区の特性・移動ニーズをふまえて、鉄道の上下分離等を含めた地域旅客運送サービスの確保に関する議論や検討を幅広く行いたいと考えています。

【別紙】 2019年度 輸送密度（平均通過人員）2,000人/日未満の線区の経営状況（2021-2023平均）

路線名	区間※	営業キロ	2021-2023平均				平均通過人員【人/日】		
			線区運輸収入 (A) 【億円】	線区営業費用 (B) 【億円】	収支率 (A)/(B)	線区営業係数 100*(B)/(A) 【円】	1987	2023	2023/1987比
小浜線	敦賀～東舞鶴	84.3	2.3	17.6	13.3%	754	2,712	894	33%
越美北線	越前花堂～九頭竜湖	52.5	0.5	9.0	5.2%	1,910	772	282	37%
大系線	南小谷～糸魚川	35.3	0.2	5.7	3.6%	2,747	987	110	11%
山陰線	城崎温泉～浜坂	39.9	1.2	10.3	11.5%	871	4,966	574	12%
	浜坂～鳥取	32.4	1.0	8.3	12.1%	827	4,878	792	16%
	出雲市～益田	129.9	6.8	37.6	18.0%	557	2,779	932	34%
	益田～長門市	85.1	0.6	11.9	5.4%	1,862	1,663	209	13%
	長門市～小串・仙崎 <sup>(注)</sup>	52.8	0.6	7.6	8.0%	1,253	2,424	205	8%
関西線	亀山～加茂	61.0	2.0	18.3	11.0%	908	4,294	942	22%
紀勢線	新宮～白浜	95.2	4.9	34.2	14.2%	703	4,123	935	23%
加古川線	西脇市～谷川	17.3	0.1	2.6	5.3%	1,894	1,131	275	24%
姫新線	播磨新宮～上月	28.8	0.8	6.7	11.5%	867	2,389	813	34%
	上月～津山	35.4	0.5	4.7	9.6%	1,036	1,527	401	26%
	津山～中国勝山	37.5	0.6	5.3	10.8%	925	1,364	661	48%
	中国勝山～新見	34.3	0.1	4.1	2.5%	4,042	702	111	16%
播但線	寺前～和田山	36.1	2.5	8.1	30.4%	329	3,388	1,047	31%
芸備線	備中神代～東城	18.8	0.1	1.7	3.5%	2,843	504	88	17%
	東城～備後落合	25.8	0.02	2.0	0.8%	11,766	476	20	4%
	備後落合～備後庄原	23.9	0.1	2.2	3.4%	2,978	725	86	12%
	備後庄原～三次	21.8	0.3	2.5	12.0%	832	1,257	373	30%
	三次～下深川	54.6	1.9	16.0	11.7%	854	3,500	998	29%
福塩線	府中～塩町	54.4	0.2	4.8	4.6%	2,188	898	166	18%
因美線	東津山～智頭	38.9	0.2	3.9	4.4%	2,272	1,551	134	9%
木次線	宍道～出雲横田	52.3	0.5	6.9	7.5%	1,342	879	255	29%
	出雲横田～備後落合	29.6	0.07	2.3	2.9%	3,424	279	72	26%
岩徳線	岩国～櫛ヶ浜	43.7	1.5	7.5	19.6%	511	3,342	1,066	32%
山口線	宮野～津和野	47.4	1.2	10.4	11.3%	889	2,237	531	24%
	津和野～益田	31.0	0.7	6.4	10.3%	970	1,859	479	26%
小野田線	小野田～居能 など	13.9	0.2	1.9	8.4%	1,191	1,479	378	26%
美祢線	厚狭～長門市 <sup>(注)</sup>	46.0	0.5	4.3	10.9%	915	1,741	300	17%

※「データで見るJR西日本」で平均通過人員を開示している区間

(注)

- 各数値につき、区間欄で(注)を付記した線区については、集計期間内において被災による長期運転見合わせが発生していますが、その期間も含めて算出しています。
- 「平均通過人員」は、ご利用されるお客様の1日1kmあたりの人数を表し、以下の計算により算出しています。  
【平均通過人員】＝【各路線の年度内の旅客輸送人キロ】÷【当該路線の年度内営業キロ】÷【年度内営業日数】
- 線名・区間・営業キロは2023年度末現在の情報を元にしています。1987年度の平均通過人員は1987年度当時の営業キロを元に算出しています。
- 収支率はその区間でかかる費用に対する収入の割合、線区営業係数はその区間で100円の収入を得るためにかかる費用を表しています。
- 管理費（本社・支社にかかる費用）は除いています。
- 四捨五入の関係で、「収支率」「線区営業係数」は「線区運輸収入」「線区営業費用」による計算結果と一致しない場合があります。